

伝統ある畜産・食肉・二次製品の専門紙

畜産日報

DAILY MEAT & LIVESTOCK

●発行所 株式会社 **食品産業新聞社**

本社 〒110-0015 東京都台東区東上野2-1-11(サンフィールドビル) TEL:03(6231)6093 FAX:03(5830)1570
大阪支局 〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-15(若杉グランドビル別館) TEL:06(6881)6851 FAX:06(6881)6859
ホームページ <https://www.ssnp.co.jp> E-mail: chikusan@ssnp.co.jp

●購読料(前納・税込) 6ヵ月 44,788円・1年 86,962円 (電子版)6ヵ月 43,544円・1年 84,546円

本社の定期刊行物

- (週2回刊) 食品産業新聞
- (日刊) 大豆油糧日報
- (日刊) 米麦日報
- (日刊) 畜産日報
- (日刊) 酒類飲料日報
- (日刊) 冷食日報
- 味噌醤油年鑑
- (月刊) メニュー・アイデア

2025年(令和7年)

3月25日 火曜日

第15925号

CONTENTS

禁無断転載

- 【緊急掲載・トランプ関税の影響の考察】① 報復関税を含め豚肉への影響は? 2
米国は豚肉輸出の減少だけでなく、輸入食品価格上昇で国内の消費行動も変化か 2
中国への豚内臓の輸出減少はパッカーにとって大きな減収要因に 3
カナダは米国への最大の生体豚供給国、米国でのと畜向け肥育豚が不足か 4
- 2月の畜産売上高は既存店で前年比0.3%減、相場高の影響で伸び悩む—JSA . 4
- 丸大食品、4月1日付・6月下旬付人事異動 4
- NSK会春季例会「成長市場と捉えメーカーと協力し商品開発に努力」川村会長 5
細胞性食品の可能性で吉富氏講演、現状は培養細胞と食材合わせた加工食品中心 5
- 3位にやきとりたれ味缶75gが上昇—2月の日経POS畜肉缶詰 6
- オルビス、前橋市で「ステーキ食べ比べフェス」4カ国の味わいの違い楽しむ . 6
- スロバキアで口蹄疫、欧州で3カ国目、ハンガリーとの国境付近 7
- 「仮面ライダーガヴ」フィッシュソーセージ第2弾—丸大食品 7
- スペイン、アニマルウェルフェア規制の開始時期を1年延長 7
- △ 牛枝肉相場・豚枝肉相場・流通センター豚部分肉相場(24日) 8
- 資料—POSデータ売れ筋商品ランキング⑧(25年2月・畜肉缶詰) 9
- 資料—25年1月分・主要卸売市場の枝肉取引総重量及び枝肉取引総価額 10~11



食品産業のトレンドを読む食品の総合紙

いま、食品産業はインターナショナル、ボーダレスの時代。異業種、他の業界がどのような動きにあるのか、また、食品産業のトレンドは何か。食肉業界にとっても、食品産業全体の動きを先取りし、新たな動きに対応していくことが求められています。そのニーズに応えるのが「食品産業新聞」です。

発行:週2回(月、木曜日) ブランケット判、購読料: 6ヵ月24,840円(税込)

【緊急掲載・トランプ関税の影響の考察】⑤ 報復関税を含め豚肉への影響は？

米国のドナルド・トランプ大統領は、「世界で一番美しい言葉は『関税』だ」と言って、就任直後に3大貿易相手国であるカナダ、メキシコからの全輸入品に25%、中国には10%の追加関税を課し、ほかの貿易相手国の物品にも10~20%の追加関税や貿易相手国と同等の相互関税を課すと発表した（カナダのエネルギーに対する10%関税を除く、実施は4月2日に延期、中国は3月4日にさらに10%を追加して合計20%で実施）。また、これらとは別にすべての鉄鋼とアルミニウムの輸入に25%の関税を課すとも発表している。このようなトランプ政権に日本を含む世界が振り回されており、追加関税や相互関税を課される国々からは報復関税も発表されるなど、まるで「関税戦争」「貿易戦争」の体を成している。

カナダ・メキシコ・中国からの輸入額は米国の総輸入額3.2兆ドルの約41%占めている。また、カナダからの原油は米国の原油輸入の約60%を占め最大であり、電力もカナダから輸入している。追加関税が課された場合に米国国内のエネルギー価格を押し上げることは間違いない。メキシコは米国にとって自動車、自動車部品、車両付属品の最大の供給国であり、追加関税が課された場合は米国内の自動車産業に大きな影を落とすことは確実とされる。つまり、カナダ・メキシコへの追加関税は、畜産・食肉生産にとって生産費・投入原材料や輸送費のコストを押し上げるだけでなく、さらに、すそ野の広い自動車産業への影響は、産業の収縮やレイオフなどの可能性があり、食肉消費量の減少の可能性を想起させる。

世界の多くのエコノミストからは、トランプ関税と貿易相手国の報復関税は、米国内で

のインフレの再燃、経済減速と株価の下落、経済停滞によるUSドル安の進行が指摘される。加えて、世界貿易の収縮、世界経済の停滞、世界的インフレの再加速を懸念する声が挙がっているほどだ。この状況は米国への輸出や米国経済への依存度が高い日本にも大きな影響を与えることは間違いない。3月19日に開かれた米国連邦準備制度理事会(FRB)の連邦公開市場委員会(FOMC)では、2会合連続の政策金利の据え置きを決め、3月20日に開かれた欧州議会では欧州中央銀行(ECB)のラガルド総裁が米国の追加関税・相互関税措置は世界経済に悪影響と証言した。利上げ局面にある日本銀行の植田総裁も3月19日の金融政策決定会合後に、「不確実性が高いなか、簡単に政策判断はできない」と、様子見の姿勢を示している。

日本は、大量の食肉を、米国を中心とした諸外国から輸入している。経済に関する予測、判断はもちろん、トランプ関税やその報復関税が日本の食肉輸入先国(とくにカナダとメキシコ)の畜産と食肉の生産・相場・流通にどのような影響をもたらすのかを予測・分析して、対策を検討しておく必要がある。

ただ、注意が必要なのは、不透明なことが多いなかでの予測では希望的になりがちであり、ニュートラルな判断が必要になる。そして、この先もできる限り正確な情報収集に努めて、柔軟に対策を変更することも重要だ。ここでは、食肉全体を見るのではなく、日本のチルドポーク輸入のほぼ全量が米国、カナダ、メキシコにあることを踏まえ、この3カ国に中国を加えた影響などを考察してみたい(3月24日現在の状況に基づく予測)。

米国は豚肉輸出の減少だけでなく、輸入食品価格上昇で国内の消費行動も変化か

【米国の状況】一昨年から続く干ばつの影響で、ことしは牛肉生産が落ち込み、価格上昇が予想され、米国内の牛肉需要をカバーするためにオセアニア諸国や南米諸国からの輸入増加が予想されている。そして、米国の食肉需要は、2%強の増産が見込まれる豚肉や、増産が比較的容易な鶏肉にシフトする可能性が高いと考えられる。米国・カナダ・メキシコの3カ国は「米国・メキシコ・カナダ協定(US

MCA)」という貿易協定で0%関税となっているうえに、地続きのため畜産業・食肉産業は生体や食肉の輸出入で相互依存の関係がある。

2024年の米国食肉輸出連合(USMEF)のデータによると、米国の牛肉・牛内蔵類輸出货量(合計128万5,591t)のうち、カナダが10万679t(約8%)、メキシコが23万2,488t(約18%)、中国が21万5,603t(約17%)で3カ国合計は54万8,770t(約43%)。豚肉・豚内

臓類輸出货量(合計 302 万 6,690 t)は、カナダが 21 万 2,439 t (約 7%)、メキシコが 115 万 4,989 t (約 38%)、中国が 47 万 5,441 t (約 16%)で 3カ国合計は 184 万 2,869 t (約 61%)を占める。牛肉・豚肉にとってこの 3カ国は重要な輸出先であることは明白で、とくに豚肉におけるメキシコ、豚内臓類と鶏のモミジにおける中国は、代替輸出先が無い最大の輸出先といえる。

さらに、すべての輸入鉄鋼やアルミニウムに対する 25%追加関税は、生産と加工に使用される設備のコストを押し上げることになる。

カナダからは米国で使用される一次アルミニウムの約 3分の 2を輸入し、23年には約 77 億 1,000 万ポンドのアルミニウムを、メキシコはアルミニウムで 3番目の輸入国であり、23/24年には約 12 億 2,000 万ポンドを、中国からは約 6 億 4,600 万ポンドを輸入していた。鉄鋼とアルミニウムに 25%の追加関税が課さ

中国への豚内臓の輸出減少は、パッカーにとって大きな減収要因

【中国の報復】第一次トランプ政権の 18/19 年にとられた追加関税への報復として、中国は 500 億ドル相当の米国製品に 25%の報復関税を導入した。米国からの飼料穀物輸入の全量をシフトできなかつたものの、輸入先をブラジルやアルゼンチンなどにシフトした。その結果、米国産大豆の中国の輸入量は 17/18 年の 2,870 万 t から 18/19 年には 1,030 万 t と半分以下に減少し、米国の大豆輸出は 20%減少、大豆価格は 20%下落となった。

3月10日に中国政府は、報復関税として豚肉、牛肉、鶏肉を含む米国産農産物に追加関税(10~15%)を課した(豚肉 47%、牛肉 22%、鶏肉 15%など)。この農産物には、小麦、トウモロコシ、綿花、ソルガム、大豆、果物、野菜、乳製品、魚が含まれている。

18/19 年に追加関税を課せられたときから中国は飼料穀物の輸入先を多角化して、ブラジル・アルゼンチンからの輸入にその一部を振り替えている。今回はその動きを加速化するものと思われる。米国の飼料穀物の輸出が減少することは、米国の飼料穀物生産農家にとっては価格の下落と収入の減少に通じ、大きなマイナスになるはずだ。

豚の生産費の 6割ほどを占める飼料価格の下落は、米国の養豚農家にとってはプラスに

れた場合、食品用の缶の価格が上がるばかりでなく、その缶を使用した缶詰食品の価格上昇は避けられない。

つまるところ、トランプ関税は、トランプ大統領の支持基盤の米国農家には痛み以外の何ものでもなく、米国の食肉輸出が世界市場に依存する現在、米国畜産団体はトランプ政権に長期的影響を考慮するように求めている。

今回もトランプ政権は支持基盤の米国農家への助成措置を検討しているようだが、果たしてどの程度の効果があるのか不透明だ。さらに、カナダ・メキシコ・中国に加えて、すべての貿易相手国からの輸入品にトランプ関税を課すことは、米国における畜産・食肉の生産・流通コストの上昇や、輸入食料価格の上昇として米国消費者に波及する。このため、消費者にとっても大きなマイナスであって、米国における食料消費行動の変化、食料市場の縮小が起きることがうかがえる。

働くと思われるが、豚肉・豚内臓類が中国に販売できなくなったパッカーからは、と畜向け肥育豚価格への下押し圧力が強まるはずであり、養豚農家にとっても中長期的にはマイナスに働くと考えられる。

中国では豚と飼料穀物の国内増産を進め、飼料穀物の輸入先の多角化の一つとして、3月には南米ボリビアからのソルガム輸入の植物検疫協定を締結している。また、豚・豚肉増産が進んでいる中国が必要としているものは豚肉ではなく、豚内臓類だ。米国を含む西洋諸国ではほとんど食品として販売されない豚内臓類が中国への輸出で享受できていた米国パッカーの利益が無くなる、もしくは減少することは、パッカーにとっては大きな減収要因だ。一方、中国がほかの生産国へシフトするのは比較的簡単なことと考えられる。

なお、トランプ関税ではないが、中国はカナダが中国製電気自動車に課した 100%の関税と、鉄鋼・アルミニウムに課した 25%の関税への報復として、3月20日からカナダ産菜種油、油粕、えんどう豆に 100%、水産物と豚肉に 25%の追加関税を課した。この報復関税により、カナダの豚肉輸出に影響が出ることは避けられないはずであり、この点も考慮の必要がある。

(4面につづく)

カナダは米国への最大の生体豚供給国、米国でのと畜向け肥育豚が不足か

【カナダの報復】カナダ政府が発表した25%の追加関税を課す米国への報復リストには、家きん、豚肉、乳製品、小麦、大麦、米、果物、野菜、加工食品などの農産物が入っていた。これらすべての米国からの輸入が停止するとは思えないが、輸出量減少、価格下落が見込まれ、生産者にとってはマイナスであることは間違いない。農業・食品・農村経済開発大臣はトランプ関税に対する報復関税の影響に対する対策として米国产飼料の代替品の手当てを早急に進めると発表しているが、米国からの飼料輸入が減るのであれば、米国内での飼料価格の下落が見込まれ、飼料生産者・輸出者は減収になるはずだ。さらに、米国からのエタノールにも課税することを検討している。米国のエタノール原料はトウモロコシであり、実施された場合は米国からの輸入が減少して米国内でのエタノール生産が減速し、トウモロコシ価格が下がる可能性がある。トウモロ

コシ生産農家には大きなマイナスだが、養豚農家には飼料コスト削減の可能性がありプラスとなるものの、中国で説明したように、巡り巡って養豚農家にもマイナスの結果をもたらすと考えられる。

カナダで忘れてはいけないことは、カナダは米国に対する最大の生体豚の供給国という点だ（と畜向け肥育豚と肥育素豚の合計で約800万頭）。カナダからの生体豚にも25%の関税が課され、手当てを控えた場合、ミシガン州、オハイオ州、インディアナ州のと畜処理工場は十分にと畜向け肥育豚が集荷できなくなる可能性がある。マニトバ州の南に位置する米国の数州はマニトバ州産の肥育素豚を約300万頭輸入しているが、米国側がその手当てを控えた場合、これら数州では空豚舎が増えることは間違いない。カナダにはその肥育豚をと畜処理できる能力がなく、肥育素豚を肥育する豚舎がない状況だ。(つづく)

○ 2月の畜産売上高は既存店で前年比0.3%減、相場高の影響で伸び悩み—JSA

日本スーパーマーケット協会(JSA)などスーパー3団体が21日に発表した2月のスーパーマーケット販売統計調査(270社・8,391店舗)によると、同月の畜産の売上高は1,185億2,187万円となり、全店ベースで前年同月比0.7%増となったものの、既存店ベースは同0.3%減とわずかに下回った。

食品合計の売上高は1兆5,914億1,492万円となり、既存店ベースで2.4%増となった(以下、既存店ベース)。うるう年の裏年で営業日が1日少ないほか、寒波の影響で食品全体として冬物商材が好調に推移したものの、寒暖差が大きく販売に苦心した声もあった。

生鮮3部門合計は3,463億7,679万円・同

2.2%増で、青果は1,435億円・7.3%増、水産は844億円・2.3%減。総菜は1,067億円・1.1%増で、生鮮品や米の価格高騰で代替需要が高まったことで伸長した。

カテゴリー動向によると、畜産は全般的に相場高が継続しており、部門としての伸び悩みと、鶏肉への需要シフトが続いているという。牛肉は切り落とし、小間切れなどが販売の中心となったものの、前年並みを確保したが、豚肉は国産豚の価格上昇で伸び悩んだ。鶏肉は気温低下による鍋需要も追い風に好調となった店舗が多く、ハムなどの加工肉は回復傾向がみられるものの、価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられたという。

○ 丸大食品、4月1日付・6月下旬付人事異動

丸大食品は4月1日付および6月下旬付で、次の役員人事を行う。

〔4月1日付〕▽専務取締役品質保証部担当(常務取締役丸大ミート代表取締役社長)食肉事業部長福島成樹▽総務人事部、品質保証部担当を解く、取締役丸大サービス代表取締役社長田中利雄▽上席執行役員(執行役員)調理加工事業部長兼調理加工生産部長東京支店長小瀬川竜哉▽同(同)ハムソー生産部長丹下浩次▽中央研究所顧問(執行役員中央研究所長)中根正人。

〔6月下旬付〕▽取締役(上席執行役員)経理部長森本芳史▽同(同)ハムソー事業部長池田知功▽社外取締役中野由里▽名誉会長(取締役会長)百濟徳男▽監査役(中央研究所顧問)中根正人▽退任(取締役)丸大サービス代表取締役社長田中利雄、社外取締役金子啓子、監査役宮地亨。

○ NSK会が春季例会、「成長市場と捉えメーカーと協力し商品開発に努力」と川村会長 細胞性食品の可能性で吉富氏が講演、現状は培養細胞と食材を合わせた加工食品が中心

日本ハム・ソーセージ工業協同組合協力商社会（川村洋三会長、NSK会）は19日、東京都内で春季例会を開き、(一社)細胞農業研究機構の吉富愛望アビガイル代表理事が、「細胞性食品の現状と今後の可能性」について講演した。

最初に川村会長（川村通商=写真㉔）が、2025年2月の日本の推定人口が前年比57万人減の1億2,354万人となったことを紹介。そのうえで、「日本の出生数は年々減少し歯止めがかからない。一方で死者数もベビーブームの最終組が75歳を超すと増加傾向が強まり、年間100万人の減少に近づく。就労人口も減少し、第1次産業の従事者の急速な減少が見込まれる。近未来には、加工メーカーや我々関連業界にとって厳しい市場の縮小が進むことが懸念される。しかし、1億2千万人台の日本の人口は、3千万人に届かない豪州などに比べるとまだまだ消費大国といえる。悲観的ではなく成長市場としてとらえ、新しい商品の開発にメーカーとともに我々関連業界が力を合わせて努力していくことが必要」と、人口が減少するなかでも成長市場として捉えるべきと指摘した。

さらに、「世界人口は80億人を突破し、50年には97億人に迫るとの予測がある。人口の膨張が世界で進むなか、食料問題が危惧される。この人口が必要とするたんぱく質の供給環境は厳しさを増し、食料生産には環境問題、アニマルウェルフェア、水資源、耕作可能地の確保など、さまざまな制約と限界がある」「そこで、今日のテーマである細胞性食品や植物性タンパク質などを主原料に、不足する畜肉原料をカバーしていくことが考えられる。ハムソー業界では、すでにこれらの新素材の開発に着手している企業がある。植物性たんぱく質を利用し畜肉原料を置き換えた商品はすでに市場化が進んでいる。しかし、本来の畜肉が持つ食感、フレーバー、栄養素をカバーするには、やはり動物性たんぱく質を原料とした



動物細胞から作られた原料の開発が必要と思われる。本日は吉富代表から現状と今後の可能性を解説していただく。数年先か、数十年先にはハムソーなど加工品の主原料が畜肉原料から、細胞性食品に変わっている可能性も否定できない。我々関連業界も、この大きな変化の流れをしっかりとらえ、新しいビジネスに挑戦していかなければならない」と細胞性食品など新しい流れを捉える必要性を強調した。

講演で吉富代表（=写真㉕）は、細胞農業研究機構の設立の経緯について、「最初は細胞性食品の勉強会から始まり、国内への影響の予測、どんな対応が必要かを考えるなかで設立に至った。現在は、細胞性食品分野でのルール形成に努めている。会員は、スタートアップ、食品大手、ライフサイエンス、商社、容器包装、製造システム、小売、物流など約50社が参加している」と説明した。

また、「細胞性食品は、動物や植物の細胞を培養したもの（培養細胞）もしくは、それを原料とする食品を指す。現状では、培養細胞のみで食品を作り出すことは難しく、他の食材と合わせたナゲットやパテ、ソーセージ状が主になっている。つまり、増やした細胞を原料とした加工食品というイメージ。国内業界でも、細胞性食品は肉ではなく、加工食品として整理され、植物性代替肉では満たせない肉感のギャップを埋める素材としての使用などが想定される」と述べた。

そのうえで、細胞性食品の販売事例として、①ウズラ胚由来繊維芽細胞を培養しペースト状にした商品（豪州拠点のVow社、シンガポールや香港で販売）②細胞性鶏肉・トリ線維芽細胞を長期培養し自然発生で株化させた細胞を使用したナゲットなど（米国Good Meat社、シンガポールで販売）③細胞性牛肉、ウシ由来胚性細胞を使用した商品（イスラエルAleph Farms社、イスラエルで販売）——など、個人的な味の感想を含めて紹介した。

○ 3位にやきとりたれ味缶 75gが上昇—2月の日経POS畜肉缶詰

日本経済新聞社が提供する日経POS情報の2月畜肉缶詰売れ筋商品ランキング(対象店舗:約900店舗)によると、50位以下を含む総販売金額は2,230万円(前月比33万円増)、個数は8万8,737個(同1,794個増)だった。

ベスト3は、①スパムランチョンミート25%

減塩缶340g、②ノザキコンビーフ缶80g、③やきとりたれ味缶75gとなり、3位と4位・スパムミートレギュラー缶340gが前月から入れ替わった。その他10位以内では、7位・ポークランチョンミート缶300gは前月ベスト10圏外から上昇した。(9面資料欄参照)

○ オルビス、前橋市で「ステーキ食べ比べフェス」開催、4カ国の味わいの違いを楽しむ

食肉や青果、総菜などの加工・卸売事業を手掛ける(株)オルビス(群馬県高崎市、大熊章之社長)は23日、前橋市の群馬県庁内ソーシャルマルシェ&キッチン「GINGHAM」で、「ステーキ食べ比べフェス」(共催:上毛新聞社営業局)を開いた。入場料500円(小学生以下無料)で、4カ国(国産・上州牛、米国、カナダ、豪州・ショートグレイン)のサーロインステーキを一度に食べ比べができるイベントとして初めて企画されたもの。会場には子ども連れなど500人が来場、それぞれ産地で異なる味わいを楽しんでいた。

オルビスの大熊社長によると、この催しは4月12日から13日まで高崎市内で開催する「群馬お肉の祭典」のプレイベントとして開いたもの。同社はこれまで、飲食店などの取引先を相手に食べ比べ試食会を開いてきたが、一般消費者向けには初の企画となった。

当日は、午前11時のスタート前から会場前に長い列ができるなど、このイベントを心待ちにしていることが伺えた。調理室では、同社のスタッフが次々にステーキを焼き上げ、「米国産焼き上がりました」「カナダ産入ります」と元気に声掛けしていた。ステーキは1人当たり200g弱のほか、サラダ、フルーツ、ジュースなど約500人分を用意。アンケートを記入した人にはカレーなどのお土産も配られた。



参加した親子連れは、「一度に4カ国を食べる経験はなく、産地によってこんなに



味わいに違いがあるのを初めて知った」「4カ国すべておいしいが、そのなかでも国産が最も柔らかくて、小さい子どもも安心して食べることができる。外国産はやや固いが、肉々しい野性的な味がした」「時にはガッツリとしたかみ応えのある牛肉も食べたくないので、その時は外国産の方が合っていると感じた」など、思い思いにステーキを楽しんでいた。

大熊社長は、「日ごろの感謝を込めて、お肉を楽しんでもらおうと開催した。群馬県は畜産県だが、食肉消費は全国で最下位に近い。群馬県の食肉事業者としては、皆さんに元気に食べてもらって、少しでも消費を盛り上げたい」と話していた。

○ スロバキアで口蹄疫、欧州で3カ国目、ハンガリーとの国境付近

スロバキア国家獣医食品局は21日、同国南部のハンガリーとの国境に接するコマールノ地区とドゥナイスカー・ストレダ地区の3カ所の乳牛の農場で口蹄疫を確認したと発表した。1月10日のドイツ、3月7日のハンガリーに続き、欧州で3カ国目の発生となる。同国の口

蹄疫の発生は50年ぶりという。

日本は、ハンガリーの発生がスロバキア国境付近の農場だったことから、すでに7日付でスロバキア産偶蹄類由来製品の輸入一時停止措置を行っているため、今回の発生に伴う新たな対応はない。

○ 「仮面ライダーガヴ」フィッシュソーセージ第2弾—丸大食品

丸大食品は、「仮面ライダーガヴ」の登場キャラクターを起用したフィッシュソーセージの第2弾を4月上旬から発売する=写真。

全国の量販店、アミューズメントコーナーに設置されているゲーム機「仮面ライダーバトルガンバレジェンズ」で遊べる、丸大オリジナルのガンバレジェンズカードが1枚入ったカルシウムたっぷりのフィッシュソーセー

ジ。番組ストーリーの展開に合わせ、パッケージデザインとカードのラインアップを一新した。全8種類のカードのうち1種類はキラキラ光る金箔が豪華なデザインとなっている。40g(4本)、オープン価格。



○ スペイン、アニマルウェルフェア規制の開始時期を1年延長

スペイン農業食料環境省(MAPA)は7日、同国の豚1頭当たりの飼養面積拡大などを定めた「勅令159/2023」(2023年3月8日公布)を改正し、25年3月9日からの既存の豚舎などへの規制開始時期を1年間延長すると発表した。同規制を巡っては、生産者団体などが①中小規模の養豚生産者にとって豚舎改修などのコスト負担②豚飼養頭数の減少による収益性の悪化——などを理由に規制の緩和や適用開始時期の後ろ倒しを求めている。(農畜産業振興機構海外情報)

1頭当たりの最低飼養面積(離乳子豚、肥育豚)

生体重	最低飼養面積(m ² /頭)	
	新たな規制 (勅令159/2023)	従来の規制 (勅令1135/2002)
10kg未満	0.20	0.15
10kg以上20kg未満	0.24	0.20
20kg以上30kg未満	0.30	0.30
30kg以上50kg未満	0.45	0.40
50kg以上85kg未満	0.65	0.55
85kg以上110kg未満	0.74	0.65
110kg以上130kg未満	1.00	1.00
130kg以上	1.30	1.30

資料:スペイン勅令159/2023および1135/2002

者団体が共同で声明を発表し、養豚生産者の生産コスト上昇と生産量が減少するなか、豚舎の改修は収益性に大きな影響を与え、同州の養豚生産の競争力を損なう可能性があるとして、規制を見直すことを求めている。

また、青年農業者連合(ASAJA)と農畜生産者調整委員会(CO

AG)によると、規制に対応するためには養豚場1戸当たり30万ユーロ(4,713万円)を超える投資が必要となり、肥育豚の飼養頭数が年間400万~800万頭減少する可能性がある」と指摘されている。

MAPAによると、今後、さらなる勅令の改正を行う見通しとされており、業界団体などに対して、養豚場の1頭当たり飼養面積基準の緩和などを盛り込んだ規制の一部見直し案を提示している。

今回の適用開始時期延長を受けて、スペインの農業団体である小規模農業畜産業者連合(UPA)は、MAPAが適用開始時期の延長と規制の見直し案を提示したことに評価する」とした声明を発表した。

「勅令159/2023」は、豚の断尾を減らすために、尾かじりの防止を目的として、豚1頭当たり最低飼養面積の拡大など、EUの豚指令と同等の基準としていた従来の規制を、より強化したものとなっている。

同規制が公布された23年3月8日以降、新設される豚舎については同規制が適用されているが、既存の豚舎については2年間の移行期間が設けられていた。

1年前(24年3月)には、スペインの主要豚肉産地であるカタルーニャ州の複数の生産

△ 牛枝肉相場・豚枝肉相場・流通センター豚部分肉相場(24日)

△ 豚枝肉卸売相場(3月24日)(消費税分含む)(キロ当たり円・頭)		上 (21日)	中 (21日)	並 (21日)	市況	取引頭数
仙	台	579 (590)	558 (573)	545 (456)	-	299
さい	いた	598 (608)	587 (593)	549 (555)	下押し	283
東京	(生体)	607 (629)	586 (609)	540 (572)	急落	1,124
	(搬入)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-
横	浜	621 (622)	594 (598)	558 (567)	弱保合	645
名	古屋	600 (625)	540 (563)	517 (533)	-	264
京	都	650 (594)	636 (550)	574 (597)	-	108
大	阪	703 (639)	628 (640)	567 (603)	急伸	208
神	戸	- (607)	- (600)	- (546)	-	-
広	島	610 (613)	589 (588)	550 (514)	保合	47
福	岡	598 (586)	565 (551)	521 (511)	続伸	114
茨	城	- (605)	- (591)	- (538)	-	と畜のみ
栃	木	592 (600)	582 (549)	497 (502)	保合	66
群	馬	614 (623)	580 (592)	411 (456)	小反落	2,115
山	梨	休市 (休市)	- (-)	- (-)	-	41
浜	松	599 (593)	554 (552)	- (-)	-	37
岐	阜	544 (542)	510 (523)	397 (486)	-	214
東	三	627 (610)	585 (565)	543 (526)	-	320
四	日	- (-)	- (-)	- (-)	-	-
岡	山	664 (650)	631 (665)	611 (580)	-	363
佐	世	702 (668)	666 (625)	593 (482)	急反発	63

△ 全国と畜頭数(農水省統計部)

21日豚 64,500頭 成牛計 3,960頭 (和牛 1,960 交雑 1,170 乳雌 600 乳去 230)
 24日豚 66,800頭 成牛計 4,380頭 (和牛 2,120 交雑 1,200 乳雌 460 乳去 600)

△ 全農首都圏豚枝肉相場 24日

上物 = 608円 (前市 619円) (24日) 市況 = 保合
 中物 = 589円 (前市 600円) LL 310 M 330 S 325
 気配 = 急落 L 315 MS 345 SS 255
 首都圏入荷頭数 = 1,196頭 首都圏入荷量 = 13,700t

△ 東京食鳥相場22日(税抜き価格:円、統計部)

もも肉 1009 高値 550 手羽元 600 手羽先 650 すぎも 500
 中値 773 415 手羽先 650 435 500
 安値 721 371 安値 290 360 350 285 340

△ 牛枝肉卸売相場(3月24日)(消費税分含む)円/kg、()内頭数		と畜397頭		と畜74頭	
東京(和めず急騰)		大阪(保合)		生体	
和めず(196)	和去(60)	和めず(26)	和去(5)	和めず(10)	和去(4)
A5	3,109 (160)	2,369 (48)	2,262 (1)	2,419 (3)	2,302 (2)
4	2,379 (32)	2,165 (11)	2,088 (5)	2,264 (4)	2,189 (2)
3	2,405 (1)	- (-)	1,599 (12)	2,034 (3)	- (-)
2	1,405 (1)	1,647 (1)	1,323 (4)	- (-)	- (-)
B5	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
4	2,060 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
3	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
2	- (-)	- (-)	1,120 (2)	- (-)	- (-)
交めず(31)	交去(9)	交めず(28)	交去(1)	交めず(2)	交去(20)
B5	- (-)	1,757 (4)	- (-)	- (-)	1,899 (1)
4	1,654 (11)	- (-)	1,518 (4)	1,740 (1)	1,669 (7)
3	1,454 (8)	1,521 (3)	1,369 (7)	- (-)	1,590 (4)
2	1,349 (4)	1,344 (1)	1,286 (4)	- (-)	- (-)
C4	1,182 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1,671 (1)
3	- (-)	1,380 (1)	1,299 (3)	- (-)	1,572 (2)
2	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
乳めず(-)	乳去(-)	乳めず(29)	乳去(-)	乳めず(-)	乳去(-)
B5	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
4	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
3	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
2	- (-)	- (-)	851 (4)	- (-)	- (-)
C4	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
3	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
2	- (-)	- (-)	851 (4)	- (-)	- (-)

△ 日本食肉流通センター豚部分肉相場(24日) (消費税分含む)(kg当たり円・kg)

	首都圏		近畿圏		取引重量
	重量中央値	対り込み平均値	重量中央値	対り込み平均値	
かたろー	1,177	1,179	1,231	1,218	25,199
う	752	775	755	761	53,827
ろ	1,134	1,172	1,123	1,139	40,191
ば	1,274	1,279	1,231	1,217	50,341
も	819	814	761	772	84,206
ヒ	1,220	1,237	1,218	1,210	4,386
セ	976	969	933	946	75,568

○ 資料—POSデータ売れ筋商品ランキング® (25年2月・畜肉缶詰)

順位	名称	千人当り金額(円)				千人当り個数			平均価格			カバー率
		前月比	前年比	金額シェア	前月比	前年比	金額シェア	平均価格	前月比	前年比		
1位	ホームル スパム ランチョンミート 25%減塩 缶 340G	51.1 円	98.6%	91.4%	12.3 %	0.08 個	4.8 %	646 円	104.0%	105.3%	53.6 %	
2位	川商フーズ ノザキ コンビーフ 缶 80G	33.5	115.5%	105.3%	8.0	0.09	5.4	371	99.7%	100.8%	52.9	
3位	ホテイ やきとり たれ味 缶 75G	28.1	103.3%	80.7%	6.7	0.19	11.4	149	102.4%	100.5%	83.1	
4位	ホームル スパムミート レギュラー 缶 340G	25.6	91.1%	82.6%	6.2	0.04	2.4	656	101.1%	103.2%	47.8	
5位	川商フーズ ノザキ ニューコンミート 缶 80G	21.2	113.4%	143.2%	5.1	0.08	4.9	261	100.3%	102.3%	42.4	
6位	いなば とり タレ味 缶 65G	16.5	128.9%	305.6%	4.0	0.17	10.2	98	101.0%	95.2%	24.4	
7位	ミッドランド ポークランチョンミート 缶 300G	12.7	201.6%	1814.3%	3.0	0.03	2.0	385	109.1%	104.0%	3.3	
8位	ホテイ やきとり たれ味 缶 75GX3	11.2	91.8%	97.4%	2.7	0.03	1.9	367	99.7%	93.5%	12.4	
9位	ホテイ やきとり 塩味 缶 70G	10.6	97.2%	80.9%	2.5	0.07	4.3	149	103.2%	99.7%	60.3	
10位	チュールップ ポークランチョンミート 缶 200G	9.2	108.2%	80.7%	2.2	0.03	1.6	354	99.2%	116.5%	22.0	
11位	いなば とり しお味 缶 65G	8.8	120.5%	163.0%	2.1	0.09	5.5	97	100.7%	85.2%	17.7	
12位	キュービー サラダクラブ チキンささみ ほぐし肉 パウチ 40G	8.6	108.9%	101.2%	2.1	0.06	3.4	154	99.7%	110.6%	40.3	
13位	明治屋 マイ コンビーフ スマートカップ 80G	7.7	87.5%	65.3%	1.8	0.02	1.2	381	105.0%	100.5%	18.4	
14位	明治屋 マイ 脂肪の少ないコンビーフ スマートカップ 80G	7.5	100.0%	67.6%	1.8	0.02	1.2	387	101.3%	99.0%	18.7	
15位	沖縄物産 わしたポーク ジャパン 缶 200G	7.2	102.9%	138.5%	1.7	0.01	0.8	518	99.2%	113.0%	14.8	
16位	川商フーズ ノザキ コンビーフ 缶 80GX3	7.0	259.3%	636.4%	1.7	0.01	0.4	999	101.8%	100.1%	3.5	
17位	国分 K&K ニューコンミート 缶 80G	6.0	105.3%	88.2%	1.4	0.02	1.3	289	100.1%	104.6%	20.7	
18位	国分 K&K コンビーフ 缶 80G	5.7	116.3%	107.5%	1.4	0.01	0.8	418	101.4%	106.3%	18.9	
18位	ホームル スパム ランチョンミート レギュラー 缶 198G	5.7	114.0%	162.9%	1.4	0.01	0.8	455	91.2%	94.1%	10.6	
20位	川商フーズ ポーク 缶 340G	5.4	145.9%	101.9%	1.3	0.01	0.6	510	91.7%	91.5%	12.6	
21位	明治屋 マイ 牛肉大和煮 缶 90G	5.1	102.0%	54.3%	1.2	0.01	0.7	451	101.9%	101.9%	11.4	
22位	極洋 やきとり たれ EO 65G	5.0	128.2%	714.3%	1.2	0.05	2.7	110	95.5%	78.8%	7.7	
23位	ニッスイ 牛焼肉 タイ産 缶 85G	4.8	104.3%	37.8%	1.2	0.01	0.8	350	101.5%	109.6%	26.1	
24位	川商フーズ ノザキ コンビーフ 脂肪分50%カット 缶 80G	4.7	104.4%	97.9%	1.1	0.01	0.8	375	102.0%	102.3%	13.9	
25位	極洋 ランドエース 肉大和煮 5号 EO 270G	4.3	100.0%	104.9%	1.0	0.01	0.5	480	102.7%	104.4%	8.0	
26位	いなば 焼きとり ゆず胡椒 缶 65G	3.3	97.1%	471.4%	0.8	0.04	2.1	93	99.5%	90.9%	6.7	
26位	朝日商事 ポークランチョンミート ポーク100% 340G	3.3	84.6%	-	0.8	0.01	0.5	369	100.0%	-	0.8	
28位	いなば とりレバー たれ味 EO 65G	3.2	94.1%	200.0%	0.8	0.03	2.0	99	100.2%	92.1%	12.2	
29位	川商フーズ ノザキ ウィナーソーセージ 8号 EO 105G	3.1	114.8%	110.7%	0.7	0.01	0.5	352	105.6%	101.9%	5.7	
30位	極洋 やきとり 塩味 EO 65G	2.8	133.3%	-	0.7	0.03	1.6	108	91.5%	-	7.6	
30位	東遠 ランチョンミート 缶 340G	2.8	164.7%	-	0.7	0.01	0.4	468	98.2%	-	12.1	
32位	はごろも ホームクッキング とりささみ 国産 パウチ 40G	2.5	113.6%	100.0%	0.6	0.02	1.1	138	99.5%	100.6%	15.2	
33位	いなば 焼きとり ヤンニョム味 缶 65G	2.4	104.3%	480.0%	0.6	0.03	1.6	93	99.7%	86.1%	6.4	
34位	川商フーズ ノザキ 山形県産牛コンビーフ 缶 80G	2.3	460.0%	230.0%	0.6	0.00	0.2	839	100.1%	101.1%	0.8	
35位	いなば とりささみフレック 低脂肪 缶 70G	2.2	122.2%	100.0%	0.5	0.02	1.1	117	97.2%	97.0%	13.0	
35位	ヤマトフーズ 鳥皮みそ煮 缶 130G	2.2	84.6%	115.8%	0.5	0.01	0.4	305	101.1%	104.5%	7.6	
37位	オンガネ オラム ランチョンミート 缶 340G	2.1	105.0%	80.8%	0.5	0.00	0.2	532	101.0%	110.5%	7.5	
38位	明治屋 マイ ニューコンミート スマートカップ 80G	2.0	105.3%	33.3%	0.5	0.01	0.5	269	98.1%	95.7%	8.9	
38位	ホテイ やきとり 塩味 GP4号 缶 70GX3	2.0	105.3%	71.4%	0.5	0.01	0.3	404	101.4%	100.8%	6.8	
40位	ホテイ やきとり 塩レモン味 缶 70G	1.8	128.6%	94.7%	0.4	0.01	0.8	135	96.2%	95.1%	12.2	
41位	宝幸 おつまみ小鉢 豚ホルモン辛味噌煮込み 豚がっ使用 缶 55G	1.7	81.0%	212.5%	0.4	0.02	1.1	97	101.3%	86.0%	5.0	
41位	川商フーズ ノザキ コンビーフ 缶 80GX2	1.7	35.4%	39.5%	0.4	0.00	0.1	737	115.6%	120.6%	1.8	
43位	ホテイ やきとり たれ味 缶 75GX4	1.6	88.9%	-	0.4	0.00	0.2	494	99.8%	-	1.7	
43位	いなば とりレバー 塩味 缶 65G	1.6	80.0%	200.0%	0.4	0.02	1.0	97	100.1%	89.6%	6.3	
43位	明治屋 マイ おいしい缶詰 プレミアムほぐしコンビーフ 粗挽き黒胡椒味 缶 90G	1.6	88.9%	80.0%	0.4	0.00	0.2	573	101.8%	99.3%	6.3	
46位	極洋 ランドエース 肉大和煮 EO 145G	1.5	136.4%	187.5%	0.4	0.00	0.3	354	99.4%	104.6%	5.1	
47位	富永 無塩せきポークランチョンミート 缶 190G	1.4	466.7%	77.8%	0.3	0.00	0.3	317	76.5%	66.2%	1.1	
48位	ホテイ とりつくね たれ味 缶 90G	1.2	100.0%	100.0%	0.3	0.01	0.5	146	89.8%	86.1%	6.3	
48位	ホテイ やきとり 柚子こしょう味 EO 70G	1.2	109.1%	66.7%	0.3	0.01	0.6	132	91.3%	93.5%	10.5	
48位	国分 K&K ケリーズ ランチョンミート クラシック 缶 340G	1.2	120.0%	-	0.3	0.00	0.1	595	94.1%	-	6.0	

※日経POS情報をもとに本紙作成(集計)。対象店舗数は約900、アイテム数は約230。PB商品は各社合計値。
 ▽千人当り金額=収録対象店舗での販売金額合計÷収録対象店舗の来店客数合計×1,000 ▽千人当り個数=収録対象店舗での販売個数合計÷収録対象店舗の来店客数合計×1,000
 ▽カバー率=販売実績のある店舗数(カバー店舗数)÷対象店舗数×100 ▽前月比・前年比の増減率は前月・前年ベスト100以内のデータをもとに算出

○ 資料—25年1月分・主要卸売市場の枝肉取引総重量及び枝肉取引総価額

(1) 総重量

単位：t

市場	豚	和牛			乳牛		
		めす	去勢	おす	めす	去勢	おす
調査卸売市場計 (1)	13,752	3,654	3,706	1	812	212	0
食肉中央卸売市場計 (2)	6,386	3,071	2,786	1	606	72	0
仙台台 (3)	126	149	209	-	56	5	-
さいたま (4)	438	31	25	-	195	13	-
東京 (5)	1,765	1,353	1,593	1	260	22	0
横浜 (6)	926	173	198	-	9	-	-
名古屋 (7)	1,389	65	63	-	4	10	-
京都 (8)	144	221	148	-	2	-	-
大阪 (9)	250	135	198	-	1	2	-
神戸 (10)	123	353	56	-	-	-	-
広島 (11)	439	79	35	-	39	17	-
福岡 (12)	786	512	261	-	40	3	-
食肉地方卸売市場計 (13)	7,365	583	920	-	206	140	-
茨城 (14)	928	36	72	-	55	-	-
栃木 (15)	101	8	41	-	32	7	-
群馬 (16)	2,765	31	92	-	4	1	-
川口 (17)	-	17	22	-	27	-	-
山梨 (18)	137	14	14	-	36	-	-
岐阜 (19)	357	37	92	-	-	-	-
浜松 (20)	334	12	3	-	3	-	-
東三河 (21)	1,487	19	15	-	4	13	-
四日市 (22)	643	8	3	-	-	-	-
姫路 (23)	-	221	283	-	7	60	-
加古川 (24)	-	33	20	-	-	-	-
西宮 (25)	-	7	10	-	-	-	-
岡山 (26)	453	8	21	-	24	20	-
坂出 (27)	61	36	40	-	1	11	-
佐世保 (28)	99	96	193	-	14	29	-

(2) 総価額

単位：千円

市場	豚	和牛			乳牛		
		めす	去勢	おす	めす	去勢	おす
調査卸売市場計 (1)	7,610,791	8,079,276	9,342,930	769	614,097	243,623	216
食肉中央卸売市場計 (2)	3,496,691	6,724,689	6,831,816	769	463,249	80,186	216
仙台台 (3)	65,800	258,383	498,067	-	41,705	4,891	-
さいたま (4)	238,283	43,714	58,248	-	157,397	12,702	-
東京 (5)	988,135	3,080,316	3,821,279	769	197,049	23,320	216
横浜 (6)	533,533	380,174	462,406	-	7,587	-	-
名古屋 (7)	746,274	150,247	160,061	-	1,846	11,692	-
京都 (8)	79,073	529,911	381,301	-	831	-	-
大阪 (9)	109,806	309,152	475,875	-	524	2,255	-
神戸 (10)	69,876	931,597	225,348	-	-	-	-
広島 (11)	226,048	154,577	88,855	-	27,814	21,815	-
福岡 (12)	439,863	886,618	660,376	-	28,496	3,511	-
食肉地方卸売市場計 (13)	4,114,100	1,354,587	2,511,114	-	150,848	163,437	-
茨城 (14)	519,776	61,332	170,835	-	41,360	-	-
栃木 (15)	53,410	16,513	101,763	-	21,376	7,982	-
群馬 (16)	1,521,408	74,281	224,132	-	2,121	328	-
川口 (17)	-	39,852	54,139	-	20,471	-	-
山梨 (18)	76,044	25,332	31,353	-	26,814	-	-
岐阜 (19)	190,803	106,775	261,229	-	-	-	-
浜松 (20)	185,948	32,946	7,226	-	1,487	-	-
東三河 (21)	825,703	38,921	37,096	-	2,241	13,755	-
四日市 (22)	364,865	18,507	7,336	-	-	-	-
姫路 (23)	-	558,036	864,537	-	4,498	68,818	-
加古川 (24)	-	85,298	73,712	-	-	-	-
西宮 (25)	-	14,693	27,069	-	-	-	-
岡山 (26)	288,615	18,868	52,691	-	18,840	25,194	-
坂出 (27)	37,352	83,482	104,299	-	538	13,187	-
佐世保 (28)	50,176	179,751	493,697	-	11,102	34,173	-

単位：t						
交 雑 牛			そ の 他 の 牛			
め す	去 勢	お す	め す	去 勢	お す	
2,042	1,890	15	1	4	-	(1)
1,294	1,271	-	1	-	-	(2)
27	23	-	-	-	-	(3)
19	30	-	-	-	-	(4)
642	684	-	-	-	-	(5)
186	125	-	-	-	-	(6)
61	60	-	-	-	-	(7)
70	40	-	-	-	-	(8)
138	183	-	-	-	-	(9)
2	-	-	-	-	-	(10)
57	14	-	-	-	-	(11)
94	111	-	1	-	-	(12)
747	619	15	0	4	-	(13)
12	9	-	-	-	-	(14)
28	102	-	-	-	-	(15)
224	140	-	-	-	-	(16)
48	58	-	-	-	-	(17)
31	4	-	-	-	-	(18)
-	-	-	-	-	-	(19)
47	44	-	-	-	-	(20)
69	114	-	-	-	-	(21)
2	-	-	-	-	-	(22)
53	57	-	0	4	-	(23)
34	13	-	-	-	-	(24)
37	26	15	-	-	-	(25)
25	19	-	-	-	-	(26)
129	29	-	-	-	-	(27)
8	4	-	-	-	-	(28)

単位：千円						
交 雑 牛			そ の 他 の 牛			
め す	去 勢	お す	め す	去 勢	お す	
3,199,441	2,979,588	25,201	948	4,721	-	(1)
2,011,462	1,988,428	-	466	-	-	(2)
38,418	35,013	-	-	-	-	(3)
26,386	43,508	-	-	-	-	(4)
970,027	1,046,061	-	-	-	-	(5)
294,870	193,480	-	-	-	-	(6)
99,184	99,685	-	-	-	-	(7)
110,985	64,063	-	-	-	-	(8)
230,550	303,291	-	-	-	-	(9)
2,773	-	-	-	-	-	(10)
92,009	21,772	-	-	-	-	(11)
146,260	181,555	-	466	-	-	(12)
1,187,979	991,160	25,201	482	4,721	-	(13)
19,064	12,592	-	-	-	-	(14)
43,080	163,708	-	-	-	-	(15)
360,155	222,672	-	-	-	-	(16)
76,955	88,226	-	-	-	-	(17)
48,752	6,065	-	-	-	-	(18)
-	-	-	-	-	-	(19)
76,730	72,351	-	-	-	-	(20)
115,129	189,613	-	-	-	-	(21)
3,573	-	-	-	-	-	(22)
85,526	91,065	-	482	4,721	-	(23)
55,412	20,190	-	-	-	-	(24)
57,811	40,110	25,201	-	-	-	(25)
38,469	30,272	-	-	-	-	(26)
195,271	47,743	-	-	-	-	(27)
12,052	6,553	-	-	-	-	(28)